

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

令和2年7月13日発行

発行者：校長 小貫 崇明

第8号



○図書委員による読み聞かせ～稲田学園だからできる取組～

稲田学園児童生徒会の委員会活動はとても活発です。中でも、図書委員会は2日（木）・9日（木）と、朝読書の時間に1年生や2年生の教室で読み聞かせを行いました。中学生の小学生に対する読み聞かせは、稲田学園ならではの取組です。

まず、2日には7年生のお姉さんたちが1年生に読み聞かせを行いました。実は、7年生の皆さんは直前までメディアセンターで学校司書の先生と何度も何度も練習を重ねていました。その努力が実り、1年生たちは本当に真剣に集中して聴いていました。

また、9日には2年生教室で9年生の図書委員による読み聞かせを行いました。9年生の図書委員は、読書感想文課題図書にもなっている『おれ、よびだしになる』という本を臨場感たっぷりに読んでくれました。2年生の児童は、真剣に、そして時には笑いながら楽しく読み聞かせを聴いていました。

どちらの日も、読み聞かせの後には図書委員会の児童生徒による手作りの「しおり」をプレゼントするなど、笑顔いっぱい心で温まる読み聞かせでした。



○短い夏休みの課題は、「交通安全」と「健康管理」

「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」



7月16日（木）から25日（土）まで10日間、「交差点 命のきけんがかくれんぼ」をスローガンに「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が県下一斉に展開されます。稲田学園でも、児童生徒の交通事故ゼロを目指し、全学年で指導を徹底していきます。

なお、今回の総ぐるみ運動が終わった後に夏休みが始まることになります。運動期間が終わっても、子どもたちの命を守る安全運転、そして子どもたちが交通ルールを守って安全に過ごせるように、保護者や地域の皆さんからも声をかけていただければ幸いです。よろしくお願いします。

「健康的な生活を崩さないで心も体もたるまないように」

今年の夏休みは、8月1日（土）～8月18日（火）の18日間しかありませんが、油断は禁物です。4月～5月の臨時休業中に「体がなまってしまった」と感じた児童生徒も多かったのではないのでしょうか。夏休み中は、適度な睡眠時間や食事、運動、そしてルールを決めての息抜き（例えば時間を決めてテレビを見るなど）が大切です。ラジオ体操に家族みんなで行き組むというのでもいいかもしれません。家族で過ごす健康的な夏休みを！！



○「**こころの授業**」を行いました～自分の心を見つめてみよう～



7月10日（金）、7～9年生において県教育委員会主催の心の教育プログラム「こころの授業」を行いました。講師は福島大学の高橋紀子先生で、毎年本校に来ていただいています。

授業では、普段の学校生活や友人とのやりとりの場面などについて考えることをとおして、コミュニケーションの取り方やこころを安らかに保つ言動、また、それらの方法などについて自分自身を見つめながら学ぶことができました。

○**稲田学園**は今、「**稲田農園**」です

7月に入って梅雨らしい天気が続いていますが、梅雨の前に太陽の光をたくさん受けて、子どもたちが育てている植物がすくすくと育っています。植物の内容は、1年生のアサガオ、2年生の様々な野菜（トマト、ナス、ピーマン等）、3年生のひまわり、ホウセンカ、4年生のヘチマ、ゴーヤ、かぼちゃ、メロン、5年生のインゲンマメ、6年生のジャガイモ、ホウセンカなどです。子どもたちは、草取りを積極的にするなど、大きく育つことを願いながら、毎日大切に世話をしています。



○**9年生**の前向きな姿勢こそ**稲田学園**の誇りです

協会主催の大会がある部はまだありますが、9年生は6月末をもって運動部を引退しました。本当ならば、中体連で顧問の先生や7・8年生の後輩たちと学園生活最後の大会に出場し、今までの集大成の力を発揮できるはずだったわけですが、それが叶わないという現実と直面し、悔しさをきっと感じていると思います。今まで9年生を支えて下さってきた保護者の皆さんに見守られながら、ともに汗して心と体を鍛えてきた後輩たちと一緒に試合をしてほしかったと心から思います。中体連に代わる大会や練習試合が実施される中、そこで9年生が頑張る姿に、本当に感動しています。前向きに頑張る皆さんは、稲田学園の誇りです！



★ことばのちから(8) 「**たった一言が 人の心を傷つける** **たった一言が 人の心を温める**」

よく考えて話せばよいのに、何気なく話した言葉で人を傷つけてしまうことがあります。よく考えたわけでもないのに、何気なく話した言葉で人に感謝されることもあります。

いつも相手を思いやる気持ちで話せば、たぶん人を傷つけなくて済みます。他人を批判するようなことばかり言うと、きっと人の心は温められません。「たった一言」の重み。「たった一言」のありがたさ。難しいけど、いつも心のどこかで意識していきたいです。